

# 会 議 録

## かわにし事業ディスカッション2014（第1回）

開催日時	平成26年8月17日（日） 午後1時から午後2時30分
開催場所	川西市役所 7階 大会議室
内容	市民公益活動支援事業の質疑応答・討論
出席者	コーディネーター 清水 万由子
	メンバー （公募市民） 大塚 千恵子 岡田 忠純 小牧 満也 杉浦 一郎 藤本 美穂
	オブザーバー 石田行政経営室長
	市職員 船曳参画協働室長兼市民活動推進課長 清原市民活動推進課長補佐
事務局	総合政策部 行政経営室 経営改革課 （内線：2110、2112）

## 会議経過

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>第1回目のディスカッションに先立ち勉強会を行った。今回対象となる3つの事業について、公募市民と担当課で事業の課題と現状について情報共有、問題意識の共有を行った。</p> <p>まず、ディスカッションに入る前に勉強会で出てきた課題、どこが論点なのか整理して新たな問題提起もしていきたい。</p> <p>始めに市民公益活動支援事業について思い出しながら論点の確認をしていきたい。</p> <p>自治会活動は必要な部分もありつつ課題が多いということだった。間違いとか漏れがあれば随時ご指摘いただきたい。</p> <p>この事業の基本的なベースラインは、共通認識として必要なことだと1つ確認した上で事業の課題を確認していきたい。</p> <p>自治会は、そもそも何のためにあるのか。例えば、水害、地震などの災害の時にどう対応するかということ。防犯であるとかあるいは福祉なども、個別の活動団体ということでパンフレットにもあるが、地区福祉委員会、民生委員などの活動や、高齢者の見守りであるとか、子どもの声掛け、ゴミ出し、地域の環境維持といった課題もあると思うが、このような年齢とか立場に関わらず、すべての住民が必要とする公共サービス、生活の基盤条件といったものがあり、安全・安心に暮らせる条件を確保する必要がある。みなさんこれについては異論がないのではないと思う。</p> <p>ここを何らかの方法で、公共サービスを確保する必要があるということだが、ただ議論すべき点として、市役所の事業だけではきめ細かなサービスを提供するのはできない部分があり、自治ということを考えれば近隣の住民同士で助け合いを行う部分もでてくると思うが、その切り分け、どこまで自分たち近隣の住民でやるべきなのかというのも1つあると思う。</p> <p>それから、自治会やスポーツクラブ21といった任意加入で会費制で運営されている組織とコミュニティ推進協議会や地区福祉委員会といった地域住民全員対象となるものも存在している。</p> <p>この任意や全員対象とする事業選別が難しく、ちょっと混乱していると思う。このような必要なサービスを自治会がやるべきなのか、他のところがやるべきなのかという、地域の中での役割分担の話の整理を行わなくてはならない。</p> <p>それから、市全体で見たときに地区ごとでかなり状況が違っており、自治会に温度差があり、活発なところは熱心にやって、そうでないところは新しく引っ越してきた人に情報も入らないような所もある。</p> <p>これをすべての住民が必要とするサービスを確保するということが必要であれば、市でサポートする必要があるのかどうか。あるいは、自治会間同士の交流であるとか、市全体の住民の力で地区ごとの活動の違いを乗り越える工夫があるかどうか。そんな必要があるのかと思う。</p> <p>このことと関わって自治会の情報提供、参加したいけど情報がないので、どう参加してよいかわからない。情報提供の面で、やはり活動がちょっと低調なところは、それもできていないので、どうすれば進むようになるか。あるいは、担い手の問題も大きくあるかと思う。担い手の過剰な負担ということが予想されるので、若い人は参加しづらい。これをどう分散するとか、効率化する工夫も必要だが、それを自治会でやって下さいというの、なかなか前に進まないで、市役所がサポートすることでどう改善できるかというあたりかと思う。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>何かもっと他にこのようなところが問題であるという議論すべき点として、みなさんからあればご指摘いただきたい。もしなければ議論しながら、こういう点も大事だなと出していただければと思う。</p> <p>では、特に今すぐということがなければ、どの点についても結構なのでこうすべきだとか、このような問題を考えていくべきだというような意見を自由に出していただきたい。</p> <p>現在、自治会活動に携わっている立場からすると、グリーンハイツとか大和とか世帯数の多いところ、それよりは世帯数のところとばらばらになっている。</p> <p>みなさんが住みたい地域は、自分のところに対する取り組みの熱意というのが少なからず影響されていると思う。私の自治会は、役員中心の活動になるが、グリーンハイツの場合は、従業者を自治会で何名か雇用されている。</p> <p>そうすると、我々が日々やっている大変なところの部分は専従にやってもらい、そうすると立場がまた違うと思う。楽しい自治会をするための大変さが今、自治会の役員としてある。これは言っても団地なり、自治会の大きさというのは急にどうこうできるわけではないので、与えられた範囲の中でそれぞれが工夫してやらざるをえない。</p> <p>いずれにしても、一度、役員をすると楽しかったから、また次回というのではなくて一度、役員をすると大変だったので、自治会をやめるというケースをよく耳にする。その辺を楽しく、横のつながりも含めて、確かに私も以前の役員と今回やっている時と終わった後は、道で会っても一緒にやった人はやっぱり親しく声をかけるとか、ある意味でプラスのメリットがあるが、役員を行っている最中の大変さと天秤にかけてどうなのかと思う。</p> <p>人それぞれなので、いずれにしてもやって結果的につまらなかったより、やってよかったという活動をしたいと日々念頭において行っている。</p>
コーディネーター	<p>どのようにバランスを取られているか。役をやったら大変だということとこれをやったら楽しいということはあるのか。</p>
メンバー	<p>結局、人との輪だと思う。仕事柄、人と接する機会が多いので、人の輪が広がっていくこと自体は喜びである。</p> <p>仕事として、お客さんに接する頻度とか、市役所の窓口で市民の人との接するのと、また違ったやりがいがある。私はやってよかったと思う。地域の推薦者がお年寄りのできなかったりして、役員を2回ほどお受けし自分が火中の栗を拾いにいったということもある。それが他の人が同じように人との喜びとできるかどうかといったら、活動のポイントになってくると思う。</p>
コーディネーター メンバー	<p>ここに必ずしも当てはまらなくても、この間、考えていただいた意見でも構いません。私自身は、近所とのつながりを持っていきたいと思っている。結構、私たち世代の母親とまだ子どもがいない世代は、一切、自分の家だけでやっていきたいという人もたくさんいる。</p> <p>そのような人へのアプローチとか、私は地域に関わりたくないけど、ここに住みますみたいな人へのアプローチっていうのも、今後そういう世代がどんどん増えていくと思うので、早い段階で対策をとっていくのも一つと思う。</p>
メンバー	<p>自治会活動を通して人と話をするときに、人との関わりがないようにしたいので新興住宅に移ってきたということをたまに聞く。</p>
コーディネーター	<p>地域の中で周りとのつながりがないと暮らしも成り立たないということもある。そのところをどう考えてもらうかというか。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>地域のつながりという、個人のプライバシー、家計のプライバシー、その関係性というのが非常に難しくなっていると思う。</p> <p>行政サービスが進化した結果、このような問題が起こっていると感じている。私もいろいろ調べ、地区の話とかを聞いていると、自治会に入っている人が多いエリアは無理やりというか、入ったら即座に誰か来て会議にあがってくださいみたいな強制的なところがほとんどで、そういうところは当然にプライバシーがないようである。</p> <p>逆に、近代化した町というか、互いを尊重するところは、自分の意志だからみたいな建前で行っている。お祭りでさえ騒音がうるさいとかで中止になるところもあるように聞いている。それが町、都会であってプライバシーとつながりが難しいと思う。</p>
コーディネーター	<p>町の成り立ちとか、集まっている住民の考えが違っていると感じる。そういうときに自治会はなくてもいいのか。自分たちで勝手にやりますので、勝手にやってくださいでいいのか。</p>
メンバー	<p>自治会と市民というか、役割を考え直さないと思う。川西市の場合、地域分権制度という先進的な取り組みをされていて、ある種自治会に対して行政サービスの中に機能を求めるというか、そういうことに挑戦されようとしている。今までの自治会をはっきり言っても市役所がすごくきちんとされているというせいだと思うが、結果として自治会自体はそんなに行政サービスをしなくても必要なくなってきた状況になってしまっていると思うので、その役割というか位置づけを定義し直さないといけないと思う。</p>
コーディネーター 市職員	<p>自治会がなくても生活は成り立つ。担当課も、何か意見があれば。</p> <p>指摘を頂いている事柄は、われわれも現状の悩みでもある。このような課題をあげている中で、最終的に自治会は本当にいるのかという話になってしまう。市として地域分権の話も出たが、行政がすべての生活にいきわたってできるサービスはない。</p> <p>セーフティネットも含めて、道路を作る、環境を守るとか、大きな部分での役割は果たすが、人々の生活面でのつながりはやはり地域住民に守っていただかないといけないという仕組みが必要だと思う。</p> <p>そのために大きな役割を果たしているのが、自治会であり、それと福祉だけの活動団体、老人クラブ、子ども会とか、そういうものが入り交ざりながらいわゆる生活環境を守っていただいている。</p> <p>先ほど、若者がつながりを求めているというものが問題となっている。そこが大きく加入率を低下させている一つの要因でもある。もちろん高齢化が進んでいる部分も大きな影響を与えている。一概に若い世代だけではないが、メリットがないからいらぬみたいな感覚に陥りやすく、私たちは地域に関係なくても生きていけると思っているけど、困ったときに必ず地域のつながりによって助けられることが本当はある。普段なかなか感じないので、自治会に入らなくてもいいみたいなことが、少し解消していかないといいけないという部分で、課題だけは我々も認識しているけど、どうすれば人々の気持ちを変えることができるのかというのが、常に悩み続けている。</p>
コーディネーター	<p>かなり根本的というか。今はいいかもしれないけど、歳をとった時にどうか、何かあった時にどう思うか。</p>
メンバー	<p>今つながりがなくても生きていけるというのがあったが、自治会に入ることによってメリット・デメリットをはかるものではなく、自分は絶対入らないといけないものだと思っている。</p> <p>地域にお世話になっているという自覚がほとんどないから、自治会に入らなくてもいいと思っている。もっと自治会活動をアピールし自治会のおかげでこういう町があって、こういうところが改善されてというのをいかに広報していくかというのがこれからの課</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>題になるのではないかと思う。</p> <p>情報提供の部分で、若者の話があったが、今、情報ツールがたくさんあり SNS やホームページなどたくさんの情報入手手段がある中で、すべての自治会がツールを使いこなせるのか。また、それを使った情報活動をしてくださいということ自体がかなり負担になっているところはあるのではないか。</p> <p>地域の情報提供をしようと思えば更新も大変で、立ち上げるのも誰がするのかという話にもなり、どうするのかというのが少し難しいところと思う。</p>
コーディネーター メンバー	<p>例えば自治会活動の発信をどのようにされているのか。</p> <p>私の自治会でもホームページの話が今年の役員会議で出たが、ホームページを作っても毎年同じ状態で維持できるのかという心配が先に出てしまい全然進んでいない。</p> <p>費用的な面もさることながら、何を掲載する、あとはメンテナンスになる。ホームページの作成、行事の案内、いろんな形の報告をうまく回していけるかというところで頭をうってしまっている。</p>
コーディネーター メンバー	<p>私もホームページを持っており、それは息子が作成してくれた。デザインも含めて内容を更新したりしようとする手間がかかっている。</p> <p>それを考えると自治会でというのは、無理に言えない。費用も頼むところによっては20万～30万かかり、毎月メンテナンス・ページ更新すると、ランニングコストもかかる。だからホームページがすべての活動ではないが、今のところは必要なことを紙で回覧をしていくというのが大きな周知方法になる。</p> <p>それから年に一度の総会で、一年間の活動報告をしている。これは来ていただいた人に報告するだけで、ほとんどが委任状で出席されるので、あんまり効果はない。日々必要なことを紙で回覧というのが、現在の状況になる。</p>
コーディネーター メンバー	<p>回覧とか、総会だと入っている人にはいくけど、新しく来られた人とか、自治会に参加されていない人にはどうなるのか。</p> <p>参加されていない人は、全く無力になる。あと、コミュニティと地区福祉委員会は、全員参加での案内であって、自治会は会費制で会員制になるから加入していない人には原則いかない。</p>
コーディネーター メンバー	<p>川西市では未加入者への自治会勧誘の補助金制度があり、去年はどのように利用するか思い浮かばなかったので活用していないが、今年は1300件の自治会員と600何件の未加入者すべてに案内したが、会員が増えたという話は今のところ聞いていない。</p>
コーディネーター メンバー	<p>何らかやはり少し大きな枠でというか、市役所であるとか、何か仕組みが必要になるという気はするが。</p> <p>具体的な案ではないが、自治会は会費制でコミュニティなどはものによっては会費制ではないということでもいいのか。ずっと思っていたのは、コミュニティとか自治会、自主防災会とか、ばらばらになっているこれらの連携がとれたら、もしかすると自治会という存在そのものも、地域によっては地区ごとの活動の違いで出てくると思う。連携がとれたら情報提供であり、人とつながるのではないかと思う。どうしても枠組みになってしまっているだけで、それはこっちのことだからってどうしてもつながりがどれくらいとれているのが気になる。</p>
市職員	<p>今の指摘の所で、まず1点目。コミュニティの会費について、コミュニティは小学校校区を単位としており、自治会のような申し込みがあってということではなく自動的に構成員になる。</p> <p>ただ自治会がベースになっている部分が多いので、活動にはお金が必要になってくる。市から補助金が出ているが、地域からお金を集めるということが必要になってくる</p>

発言者	発言内容等
	<p>ので、会費という形で自治会が徴収している。そういう意味で自治会の人イコールで会員みたいな形になっている。自治会に入っていない人は、構成員になるがお金は払っていない。そこが非常に問題であり、地域分権ということも含めながら今後の課題になっている。</p>
	<p>また、自主防災会などの連携が深まればとのことだが、各地域によって温度差がある。自主防災会あるいは防犯協会などいろんな団体があるが、その結びつきの自主防災会は完璧に一人でやるとか、他の部分で違うところで行うとか、全く地域で一緒ではないけれど温度差はかなりある。指摘いただいた自主防災会は地域一体でコミュニティとして連携をされている人が割と多く、自主防災会にも活動の為に金が必要なので、自治会から負担をある程度頂いて活動財源にしている。それも含めて一緒に活動しているところもあり、いろんな団体によって違うが、地区福祉委員会は社会福祉協議会が母体となり、コミュニティに入っているが別で活動している。連携しているけど独自でも十分やれているというのは、今後より連携を深めていくのが行政の思いになり地域分権という中で、いわゆる連携を深めていただけるような仕組みを考えているけれども、今までそういう団体も少なくはない。団体の活動によって温度差があると思っている。</p>
コーディネーター	<p>お金の面からすると、自治体に入っている一部の人負担している。活動としてはみんな参加できる。一部の人全員の自治会などのコミュニティの活動を支えている感じになる。</p>
メンバー	<p>すべての自治会がそうではなく、私の自治会の場合、約150の班があり、班長は福祉、環境、安全、コミュニティと4つのグループに分かれている。このコミュニティグループがコミュニティの事業活動をする。自治会から人も入っているということになる。</p>
コーディネーター メンバー	<p>そういうケースもあると。 すべてが同じようなことをやっているとは思わないが、私の自治会はそのように行っている。</p>
コーディネーター メンバー	<p>コミュニティの単位と自治会の単位が同じ。 ほとんど同心円に近い。ただコミュニティは自治会からの会費という形でお金が入るが、コミュニティは市からの補助金で運営している。自治会員ではない人も、市の費用でもって賄われていると考えると活動の対象になっている。</p>
コーディネーター 市職員	<p>複雑なことになっているということ。 われわれの課題に対する、指摘いただいているような部分で自治会もコミュニティとつながっているのでありながら、結局は会費的にも自治会である。活動の担い手も自治会とコミュニティが一緒になっている。結局、自治会に入っていない人はすべてにおける参加されないという形になってしまう。</p>
コーディネーター	<p>だからこそ自治会の活性化は、自治会のためにも必要になり、地域全体のコミュニティのためにも会員がたくさんいることで結果として、地域全体のコミュニティにつながる。そこでどうしても自治会の加入率を少しでも上げていかないといけない。結果的にコミュニティという地域全体、小学校区を単位とした活動の活性化につながる。そこでわれわれとしてもこれからの課題というところになる。</p> <p>自治会が必要か必要でないか、参加するか参加しないかということは自治会だけの問題ではなく、各種団体であるとかコミュニティであるとか、そうした活動の基盤になっている。そういう役割も含めて自治会をどういう位置づけにすべきなのか。</p> <p>さっきのつながりがなくても川西市で生きていけるという考えも、そういうことを踏まえて考えるとどうか。自治会はもういいのではないかとすると、コミュニティの活動であるとか、それぞれの防犯とか福祉とかの活動も崩れていってしまう面もあるので</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>ないか。</p> <p>必要性ということでいえば、その地域の細かな情報を吸い上げたいというところは、住民も市もうまく利用していきたいというところがあると思うが、たくさん情報が集まれば集まるほど、面倒なことも起こりがちで、最近は特に細かい問題が多くて、個人情報であり、防犯とか防災の面でも何かあればすぐに責任を追及されるというやりづらい世の中になっている。そうすると住民はなににもされないというのがベストな選択肢になるので、そこの部分をフォローしていくツールであるとか NPO とか各種団体との連携があったが、ホームページとか SNS とかの活用を一からやるのは多分難しいと思う。こうしたらいいっていうのをツール自体の提供していただいてもいいと思う。より入口を簡単に、何か起こった時にはそのフォローを市がやっていただくような仕組みにしないと、何かあった時に一番困るのは住民で、一番大変なところに立ち上がったものの、すぐ大変なことが起こってしまうとその人が何も知らずに責任をとらなくなってしまうということに直面してしまい、あまりにも負担が大きく、寂しい状況になってしまう。自治会活動に役立つツールを提供して、それをどう使うかは自治会次第になるけど、選択肢が広がればいいと思う。</p>
コーディネーター メンバー	<p>ツールというのは、具体的なイメージがあれば教えてください。</p> <p>ホームページの話をしてしたが、1 から立ち上げるのは難しくなるので必要な入力事項で簡単にホームページができるとか、携帯でどこかに送信すればホームページが更新されるようになるとか、そういう技術的なのがあればできるのではないか。そういうシステム自体を作っているところがどこかにあり、それを自治会が 1 から検索するのも非常に手間になり、そこまでの情報ネットワークはないと思う。そういうもので自治会をフォローしていただく。</p>
コーディネーター メンバー	<p>入口としての情報提供の部分で 1 から住民がやらなくてもいいような共通のフォーマットのようなもの。</p> <p>話にでてきた共通のフォーマットがあって、例えば各自治会でホームページがあれば市役所のホームページから各自治会にリンクして、このような活動をしています、自治会に入りたい人は連絡してくださいという情報提供があれば若い世代も内容を見る手段になると思う。</p>
コーディネーター メンバー	<p>どうしても電話の問い合わせになると、携帯電話世代の人間からするとこの時間に電話していいのか、自分は夜しか電話できないなどが世代によって違うということがあるので、メールでやり取りができるシステムがあれば、ネット上にはなるがもっとつながりのきっかけとなるツールではないかと思う。</p> <p>出していただいたのは入口のところではまず参加する。多少でも関心がある人は見ればわかるというものを作っておく。</p>
コーディネーター メンバー	<p>伊丹市では市が運営しているポータルサイトかわからないが、住民がポータルサイトの書き込み登録をすればいろいろな情報を市民から発信してサイト上に常に新しい情報が出せる「いたみん」というサイトがある。それは自治会だけではなく小さなお店でやるようなイベント情報や個人活動とか市民活動の子育てサークル活動内容や自治会の運動会のことから、市からの子育て支援など何かの情報が発信されているので、対象の方は確認してくださいという情報も、すべてそのサイトでわかるような形になっているものがあるので、それも一つ使えるツールになるのではないかと思う。</p> <p>いろんな自治会に限らず、NPO 活動などを載せられるような。</p> <p>自治会の運営自体を支援する NPO とかがあがるように思うが、NPO に自治会の運営自体を支援していただいてもいいのだろうかと感じるけど、運営の仕方とか、運営に協力的なと</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>ころは NPO もいいが、それこそ市であるとかコミュニティで何か取り上げて、支援するようなことができればいいのではないか。</p>
メンバー	<p>市役所ではなく自治会活動支援をする NPO というのは市民目線も入れるとかそういう意味合いか。</p>
コーディネーター	<p>そもそも自治ではなくなってしまうような気はする。</p>
メンバー	<p>市民の自治活動としての自治会活動、地域活動をどのようにするべきということ自分たちで考えながら運営支援をしていく。</p>
市職員	<p>川西市の中にそのような NPO ができ、各自治会をサポートしていけたらいいとは思いますが、そういうものはあるか。</p>
市職員	<p>市内には自治会を支援するような NPO はない。他市では人材育成とか支援をされるような NPO がある。川西では自治会支援をメインに活動されているところがなく、割と特化した子育て支援の関係とかが中心だと思っている。</p>
オブザーバー	<p>少し補足すると、直接的に地域を支援する NPO はないが、中間支援の NPO がある。これは NPO を支援し地域と NPO をつなぐ役目を果たしている。先ほど行政をどこまですればよいのか、例えばホームページの運営は行政が担うべきことがあるかと思う。今回の災害のように安全というところは行政がしっかりと担っていく必要で、行政と地域と NPO の役割分担をどうしていくべきかと思う。私も自治会の役員をやったことがあるが、地域の中で人材が豊富にある。地域の自治会報を作るにしても以前に同じような仕事をされていた人とか、ホームページの運営などの筋には詳しい人もいるので、いかにしてそういう人材を地域活動の中に引きこんでくるかということだと思う。それに対して行政の果たす役割というのは補助金などの部分が出てくる。ぜひ、行政はどういったことを担い、地域はどんなことをしていくかということを知りたい。</p>
コーディネーター	<p>自治会を支援するのは誰かという話もありますが。</p>
メンバー	<p>行政と地域と NPO という話が出たが、最近は地域貢献に力を入れている大学も結構あるので学生と協働してもいいのではないかと思う。</p>
コーディネーター	<p>今、出たのは参加の入口も含めてトータルで自治会の活動を支援する仕組みとか方策とか、あとは主体についてと思う。</p>
メンバー	<p>自治会はそれぞれが独立していて、隣の自治会が何をしているか、どういう良いことをしているか全くわからない。</p>
メンバー	<p>川西では自治会長会議を年 1 回行っている。先日、会長が自治会長会議に行ったが、何もわからないまま帰ってきた。そういう会長の集まり、もしくは会長と何名かもう少し情報交換ができる集まりにしてもらえると、他の自治会の良いところを見習い、自分たちの自治会の良いところのノウハウを他の自治会に提供するなど、そうすると自己研鑽しやすくなると思う。</p>
メンバー	<p>せっかくの自治会長会議も儀式的で顔合わせだけでなく、お互いの情報交換するつながりも必要ではないかと思う。</p>
コーディネーター	<p>実際、自治会活動をしっかりさせていくための支援のアプローチの話であるが、NPO など中間支援組織など学生だとか、あるいは当事者である自治会長が地域間でつながる。</p>
メンバー	<p>情報交換の話で、人材がたくさんいると言われていたが、それを検索するのも自治会の役割になってきて負担になっていると思う。地域のつながり、プライバシーの問題もあるが、古い体制であると、いきなりずかずか上り込んで、お前できるだろうと言われてたり、それが一番効果的だとは思いますが、なかなか難しい状況にある。人材を自治会の枠を超えて、マッチング探しをするという感じで、できる人は手を挙げてくださいという形で、他の地区の自治会でもやる気がある人にはやってもらおう人材の分散のような仕組み</p>



発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>みも良いのではないか。</p> <p>ある程度大きな近隣の自治会間、コミュニティの小学校区単位くらいでは隣の自治会とできるかもしれない。</p>
メンバー	<p>自分ではないとできないサービスも無理だと思うが、技術的を求められるサービスについても別の自治会であってもいいのではないか。</p>
オブザーバー	<p>人材の発掘というか、市内のコミュニティでこれから地域分権の制度を見据えて、自分たちで人材バンクを作り、その中でそれぞれの持つスキル・経験・実績などを地域に還元してもらうような取り組みを行うところがある。</p> <p>地域では一番課題なのが高齢化・人材不足になる。人材不足は、同じ人がいろいろな委員会に属していて、疲弊しているという状況がある。地域の中でどのようにして A さん、B さんを探してくるかがこれからの課題である。ただ、地域の中で宝というのがうずもれている。今までのように全くの無償で願いますか、有償制度というようなものを組み込み、このような条件のもとでやってくださる人いますか、というやり方をされようとしている。</p>
コーディネーター	<p>自治会活動も全くのボランティアではなくてもよいということ。</p>
メンバー	<p>人材発掘で1つは自治会の役員任期を1年交代から2年、3年とやる気のある人は引き継ぎやってもらう会則に変える。やる気があっても今の会則では1年でひかざるをえない。</p> <p>また、他からの人材というなら手を挙げる人を自分の自治会以外の自治会も含めて発掘する。川西市の場合、商工会に入っている人の中で専門家委員会というのを立ち上げている。例えば、弁護士・税理士・土地家屋調査士・社会保険労務士・行政書士などが登録して、専門家委員会を作っている。</p> <p>直接的にはボランティアではないが、そういうところでこういう人で人材をおられますか、と尋ねたら紹介してもらえ。協力してくれそうな人材を紹介していただけるので、いろいろな可能性の中で自治会活動につないでいけばよいのではと思う。</p>
コーディネーター	<p>地域の中で、福祉の担い手などを地域内で発掘するのが重要になる。参加の入口と担い手の確保、人員を含めて地域内外で自治会の地域活動支援のいろいろなアイデアが出た。</p>
メンバー	<p>各自治会によって問題点が非常に様々で、一概にひとつの解決策というのがないと思う。今でも自治会活動が活発なところはツールなどを活用されていると思うが、活発ではないところはいくらやっても自分たちのやる気がないのかもしれないし、自治会以外のサービスで満足、生きていけるだろうという感じである。問題点の個性が強い気がしている。</p>
コーディネーター	<p>いろいろな考え方の人がいるが、地域によってもいる人いない人が偏っており地域間のむらがある。自治会をやりましょうという方向で進めていっていいのかというところ。</p>
メンバー	<p>私が考えるには活発に新しいことを含めていろいろなことをやればやるほど、会員は増えないと思う。自分が担当したときのことを考えると、次に自分が班長になるから、その前にやめるという動機づけになってしまう。要は、やる気、協力しようという人を1年で終わらせない形にすれば、よりやめていく人が軽減できるのではないかと思う。活発にすることで自治会加入者が減るというような印象を持っている。</p>
コーディネーター	<p>やってくれる人にずっとやってもらえばいい。</p>
メンバー	<p>経験、ノウハウがある人なら負担ではないが、1からの人は負担が大きいと思う。</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>負担と必要性をどこまで認識するかが問題になる。今までは自治会が必要だと、それをどう盛り上げ、広げていくかを考えてきたが、今のところ必要なくかえって面倒であるという人にはどうするのが問題になる。運営をやってくれる人を見つけ、細々でもやってもらう意見もあった。</p>
市職員	<p>活発な自治会は必要だが、市内には 136 の自治会がある。大きなエリアと小さなエリアと様々であり、活動のレベルも全然違ってくる。そのような中でコミュニティが出てきて、地域全体の中で福祉や子育てなどになってくると小さな自治会ではなかなかできないので、コミュニティの中でサポートしていく。</p> <p>そのために自治会を含めながら各種団体が手を携えてやっていこうという仕組みになっている。大きな自治会は単独でできるためコミュニティに頼ることは少ないかもしれないが、個別の自治会もあり全体を支える組織をどう連帯させていくかがこれからの課題になる。成り立たせるのは人であるから、いかに担い手を確保していき、加入させていくのかということが課題である。</p>
コーディネーター	<p>大きな単位の自治会が小さな自治会を支える可能性もある。地区ごとの事情によってどうすべきかかなり変わってくる。そのあたり丁寧に事情を把握してこの場合はコミュニティが支える、ここは自治会としてやっていくべきと正確に把握していく必要があると思う。そのあたりは、市としてはきめ細かく地域の特性を把握しながらサポートしていく必要性は考えているのか。</p>
市職員	<p>地域によって違うので、地域分権の形の中で進めている限り、地域に入った中で課題を抽出してそれに応じた対応をしていきたい。大きな仕組みとして、個々のサポート内容が変わってくるので、そこは情報収集しながら考えていきたい。</p>
メンバー市職員	<p>自分たちの自治会がどのような問題点があるかを客観的に把握できているか。</p> <p>自治会長の話によれば、一番の課題は活性化の話をもととして地域課題として地域そのもの、お隣同士の中でゴミの問題ひとつでも、町づくりでも、安全安心でも、課題を把握されている。自治会長として行政に地域のために言いたいということもある。その部分では、いろんなことを認識されていると思う。</p>
コーディネーター	<p>今日、議論があったことと違っているというか、担い手の問題だとか、比べてみて初めて少し少ない。一歩引いて初めてわかる、今、問題がないと思っていてもこれから心配なことがおこるかもしれない。</p>
オブザーバー	<p>配っている第 5 次総合計画の冊子があるが、それを策定するとき地域別構想ということで小学校区ごとに地域分権制度を進めることが一つと、総合計画を市全体という枠組みの中で福祉や教育をしていたが、14 小学校区ごとに地域の特性・課題をそれぞれ 3 回ずつ地域に入って計 42 回懇談を行った。その中で地域ごとの現状と課題、これから 10 年を見据えてありたい地域の姿をまとめたものになる。</p> <p>川西は南北に長く、南の市街地区域と黒川のような自然が豊かな地域、オールドニュータウン化されている団地とそれぞれ地域によって違う課題がある。共通して言えることは、高齢化に伴う担い手の確保、地域の活性化というところが一番大きな問題になる。それと人が重複して今の役員の努力によって地域が成り立っているという実情だが、高齢化が進む中で、この状況ではだめだとそれぞれの地域が課題として持っている。特にマンションに住んでいる若い世代の地域活動への参加が少ないといわれている。コミュニティの祭りに子どもを出てきていただき、あとは家族単位で地域に入ってもらうなど地域により試行錯誤されているが、有効な手立てがないのが実情になる。市でも転入時に市民課で加入申し込みを配付し加入促進の呼びかけを継続的に進めているが、地域で新しく入ってきた人にどのような呼びかけをし、地域でどのような生活をしていくかを</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>考えてもらいたいというのが、地域別構想を策定した課題でもあった。</p> <p>ニュータウン的なつながりをあまり求めていないところであっても、地域をどうしていくべきかを考えていく必要がある。自身の住んでいるところや、このような話を聞いてどう思うか。</p>
メンバー	<p>私の地域はほとんど同世代の若い人は入っていない。</p>
コーディネーター	<p>それぞれの地域で自治会は必要なんじゃないかと話をされているのではないかと思う。</p>
メンバー	<p>コミュニティも自治会が支えていることも認識できたので、それを認識していたら入るのではないか。育児をしている人も多いので、人によっては近くに友達がいればよいという感覚で自治会に加入していない。特にマンションは入られていない人が多いので、その人たちにどのようなアプローチするかが課題である。日々の生活で忙しい人も多く、子育てでいっぱいになっている人もいるので、手を付けられていなかったりするのかと思う。</p>
コーディネーター	<p>情報も出て、自治会の意味がわかったらもしかしたらよいとなるかもしれない。</p>
メンバー	<p>私はメールより紙面の方が見やすい、人によると思うが忙しい人は携帯もしくは口コミで情報を得ている若い人が多い。</p>
メンバー	<p>あとは、自治会がやっている事業でなくてもいろいろなところでつながりを求めていなくても、外には出て行っている。スーパーは行く場所でつながりという点ではつながらずに生きてはいけないので、行政・自治会・NPO・学校などの人たちがつながれる方法をみんなで考えていけるのが1番良いかと思う。行政が安全面・防災に関しては担って、リーダーを取っていくことは必要かもしれないが、どの人も考えなければいけないかなと思う。防犯・福祉・ゴミについても、協力体制では具体案ではないが、物事を分離して考えず総合で考えることが人とのつながるきっかけになるのではないかと思う。</p>
コーディネーター	<p>自治会という枠で考えるよりも、つながりとしてどのようなものが必要であるか。</p>
メンバー	<p>テレビでどこの地域か忘れたが、福祉のデイサービスをしている会社が地域の子ども会や自治会の方々、近くのお店と協力して小さなイベントをするというのを見た。内容は、デイサービスを受けている人の中で、昼間施設から出て迷子にされる人が多いので、定期的に子どもたちが集まるようなイベントをして、その施設に来ている人の顔を覚えていく。</p>
メンバー	<p>小学校の帰りに迷っている人と出会って、施設まで帰れたという話を聞き、自治会や子ども会がデイサービスとつながっている良いケースだと思った。自治会そのものが積極的にアプローチしなければいけないのかもしれないが、きっかけを行政がつくれれば関係性をより深めるのではないか。</p>
コーディネーター	<p>自治会をテコ入れすれば、地域のつながりや必要なサービスの確保ができそうなどと、1から地域でつながりを作るためにどうすればよいのかを考えなければいけない。</p> <p>自治会活動の支援がもう少し広がっていくための方策を出せていただけたと思う。今回は、自治会の活動をやりましょうというのは難しい地域でそもそもその地域のつながりをどう作っていくのかを一つ論点として考えたい。時間を置いて新たな検討すべき課題とか話せなかったところを2回目掘り下げていきたい。</p>